

沖縄三線文化継承プロジェクト レクチャーコンサート
『しまの音 -研究と演奏でひもとく、三線の未来-』 開催

日時：2026年3月28日（土）14:00～16:30

会場：ヤマハホール（ヤマハ銀座店）

ヤマハ株式会社（以下、当社）は2026年3月28日（土）、ヤマハホールにてレクチャーコンサート『しまの音 -研究と演奏でひもとく、三線の未来-』を開催します。本公演では、当社が沖縄三線文化継承プロジェクトで進めてきた共同研究の紹介とともに、次世代を担う実演家たちの演奏をお楽しみいただけます。



<開催の背景>

沖縄を象徴する伝統楽器・三線には、職人の後継者不足や、材料である黒檀の枯渇のほか、製造や流通の面でも多くの課題が顕在化しています。こうした現状に危機感を抱いた沖縄県三線製作事業協同組合（三線組合）が中心となり、2023年に科学的な視点で三線の特性をひも解く「沖縄三線文化継承プロジェクト」がスタートしました。当社は三線組合の呼びかけに賛同し、楽器と感性研究のプランニング及び技術提供という立場で参画しています。三線を取り巻く課題を解決し、文化を継承するため、材料や楽器のふるまい、演奏に関わる感覚・技能や表現など、多角的なテーマに取り組んでいます。

本レクチャーコンサートでは、プロジェクトの一環として、これまで進めてきた研究成果を発表するとともに、専門家による解説を交えながら次世代を担う実演家たちが沖縄三線の演奏を披露します。三線をとりまく文化や音色の多様さを、研究と演奏の両面から体感できる機会となります。

<『しまの音 -研究と演奏でひもとく、三線の未来-』概要>

日時	2026年3月28日(土) 14:00~16:30 (開場 13:30)
会場	ヤマハホール (東京都中央区銀座7-9-14 ヤマハ銀座店) https://retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza/hall.html
チケット	チケットぴあにて2026年1月26日(月)より発売 料金: 5,000円(全席指定) https://w.pia.jp/t/shimanuutu26/ Pコード: 318-509
プログラム	<p>【第一部】講演 プロジェクトが始まった背景、伝統継承への課題意識、それぞれの役割、これまでの共同研究の取り組み (休憩)</p> <p>【第二部】専門家による解説と実演 音色や曲調、用いられる三線の違いなどに着目しながら、地域を代表する曲目を演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆琉球古典音楽: 舞踊「稲まづん節」独唱「赤田風節」 独唱「仲風(二揚)」 ◆沖縄民謡: 「廃藩ぬ武士」「懐かしき故郷」「ひやみかち節」 「ナークニー〜山原汀間とう」 ◆沖永良部民謡: 「子守唄」「いちきゃ節」「サイサイ節」 「永良部百合の花」 ◆八重山古典民謡・古謡: 「赤馬節」・舞踊「まふえーらつい節・ とーすい」・「とうばらーま」 <p>(終演)</p> <p>※プログラムは都合により変更する場合があります</p>
主催/後援	主催: ヤマハ株式会社 後援: 沖縄県三線製作事業協同組合、沖縄県立芸術大学、琉球大学



第一部: 研究成果を講演で紹介



第二部: 演奏家・舞踊家による実演

<講演登壇者>

◆仲嶺 幹（沖縄県三線製作事業協同組合）

沖縄県三線製作事業協同組合 事務局長 /
仲嶺三味線店（幹）店主

◆遠藤 美奈（沖縄県立芸術大学）

沖縄県立芸術大学 音楽学部音楽学科音楽文化専攻
沖縄文化コース 准教授

◆山田 典子（琉球大学）

琉球大学 研究共創機構 地域連携推進室 特命准教授

◆森 隆志（ヤマハ株式会社）

ヤマハ株式会社 研究開発統括部 先進技術開発部
副部長

◆稲岡 紋子（ヤマハ株式会社）

ヤマハ株式会社 研究開発統括部 先進技術開発部
新価値グループ 感性研究担当

<実演家>

◆新垣 俊道（琉球古典音楽）：国内外の公演に数多く出演。2024 年沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。沖縄県立芸術大学准教授。琉球古典音楽野村流保存会師範（三線・笛・胡弓）

◆親川 遥（琉球古典音楽）：沖縄県内外での定期公演を精力的に開催し、琉球古典音楽を次世代へ受け継ぐことを目標に活動を行っている

◆仲宗根創（沖縄民謡）：金城秀之氏・松田弘一氏・登川誠仁氏に師事し民謡を学ぶ。2000 年に CD デビュー。これまで 4 枚のアルバムを発表

◆前田 博美（沖永良部民謡）：師匠である祖母・前田綾子の影響でシマウタを歌い始め、島内外数多くのイベントに参加。2022 年には初アルバム『綾なるシマウタ』を発売

◆豊里 美保（八重山古典民謡・古謡）：幼少期より八重山古典民謡を習い始め、沖縄県立芸術大学に進学。現在、琉球古典音楽と八重山古典民謡の演奏家として国内外で活動

◆小渡 大海（八重山古典民謡・古謡）：石垣島白保村で八重山古典民謡を始める。横目博二・貞子両氏に師事し、現在は八重山古典民謡保存会本部教師

◆山里静香（舞踊）：八重山伝統舞踊を山里恵子、琉球舞踊を比嘉いずみに師事。八重山伝統舞踊勤王流恵の会師範、琉球舞踊親泊流輝てい會教師、沖縄県立芸術大学非常勤講師

<タイトル：「しまの音(しまぬうとぅ)」について>

島国・琉球が琉球王国として他国との交流の中で精練・体系化されてきた音（古典音楽）、大衆（シマ＝共同体）の中で愛好されてきた音（民謡）、そして各島において地域固有の文化と共に継がれてきた音（八重山・沖永良部）という、三線を通して見える沖縄文化の多様性を示す、複数の意味が込められています。

<取材について>

取材をご希望のメディアの方は、3月20日（金）までに下記申し込みフォームよりお申し込みください。

取材申し込みフォーム <https://forms.office.com/r/JXJtZff32s>

<当社コメント>

執行役員、技術本部長 兼 技術本部研究開発統括部長 池田雅弘



当社は、音・音楽を原点に培った技術と感性をもとに研究開発に取り組んでいます。本プロジェクトでは、総合楽器メーカーとして長年蓄積してきた「モノ（楽器）」と「ヒト（感性）」に関する多様な知見や独自の資産を生かし、伝統と先進技術を融合させながら、社会課題の解決に挑戦しています。

この取り組みには「楽器としての三線」だけでなく、その歴史、文化、演奏など、多岐にわたる専門知が結集しており、私たちにとっても多くの学びを得る貴重な機会です。この活動をご紹介できる場を設けられることを大変うれしく思います。

本レクチャーコンサートの開催にあたり、ご協力・ご支援を賜りました関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。今後も、世界中の人々の心豊かな暮らしの実現に向けて、新たな技術の開発と、それを通じた社会貢献に取り組んでまいります。

<プロジェクト詳細>

下記サイトをご参照ください。

<https://www.yamaha.com/ja/stories/for-our-future/okinawa-sanshin-cultural-heritage/>

<ヤマハホールイベントサイト>

<https://retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza/hall/event/detail?id=8031>

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：鈴木 淳 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト <https://www.yamaha.com/ja/contact-us/>
